

採血に伴う合併症について

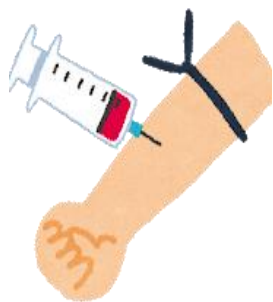
無断転載禁止

止血困難・内出血

針を刺した場所を3分ほどしっかり押さえて予防してください。特に血液サラサラの薬を飲んでいる方は、10分ほどしっかり押さえてください。内出血があってもほとんどが1週間から4週間程度で自然治癒します。

アレルギー

採血時のアルコール消毒や止血のテープなどで、かゆみ・発疹といったアレルギー症状がでることがあります。



神経損傷

非常に稀ですが、針を穿刺時に神経を損傷することがあります。神経損傷は約1万回～10万回に1回の頻度で起こると言われています。多くは1週間以内に、大部分は3ヶ月以内に改善します。通常の採血での損傷は軽度で、症状は軽く一時的なことがほとんどです。

採血後も手指へ広がる痛み・しびれなどが持続する症状がありましたら、お申し出ください。

血管迷走神経反応

採血により一時的に血圧が低下し、めまい、気分不快感、意識消失などをひきおこすことがあります。

これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。

(その際の医療は、原則として通常の保険診療となりますのでご了承ください)